

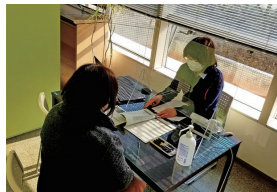
## おくやみコーナー窓口が全区役所に配置!

死亡に伴う各種手続きに関するご遺族の負担を軽減する「おくやみコーナー」が、公明党市議団の要望により、全区役所に設置されます。

設置時期は令和4年5月下旬、専任職員2名が配置されます。要予約です。

来庁前に必要書類のチェックリスト等が記載されている「おくやみハンドブック」を郵送。

ワンストップで申請書の作成や必要な手続きを抽出し、受付時間の短縮が図られます。



## 千葉市 心のケア相談を行っています。

新型コロナウイルス感染症の影響による心のケアに関する相談に対応するため、電話・SNSによる相談を受け付けています。

☎043-216-2875

平日 17:00～21:00

土日祝日 13:00～17:00

### SNS (LINE) 相談

- ① QRコードをLINEで読み取り、「友だち追加」してください。
- ② 相談時間中に「千葉市心のケアSNS相談」に「トーク」でメッセージを送ると相談員が相談を受け付けます。



## 市議団の予算に対する意見

新年度予算は、国の経済対策についての補正予算も含め適切に対応しつつ、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、防災・減災対策の強化や脱炭素社会実現に向けた取り組み、医療、健康づくりに向けての取り組み、子育て支援施策の推進、教育環境の充実など、市民生活向上への施策が進められていること、あわせて、地域経済の活性化や都市の魅力づくりなど、まちづくりへの取り組みも展開されております。

さらに、財政健全性の維持・向上への取り組みなども進められており、市民の意見や要望を集約した公明党市議団の令和4年度予算編成に関しての要望に対しても一定の取り組みが見られ、新年度予算案を評価すべきものと判断しました。

## 市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

お住い・年齢について (該当するものに✓をおつけください。)

- ▶お住い  中央区  花見川区  稲毛区  若葉区  緑区  美浜区  
▶年齢  20歳未満  20～39歳  40～59歳  60～74歳  75歳以上



お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立ててまいります。

FAX.043-245-5584

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <https://chibakomei.com/>

# 公明党千葉市議会議員団

## 市議会だより

2022  
春号

発行日/令和4年3月 発行/公明党千葉市議会議員団  
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1



## 令和4年度予算 公明党市議団の要望が実現!

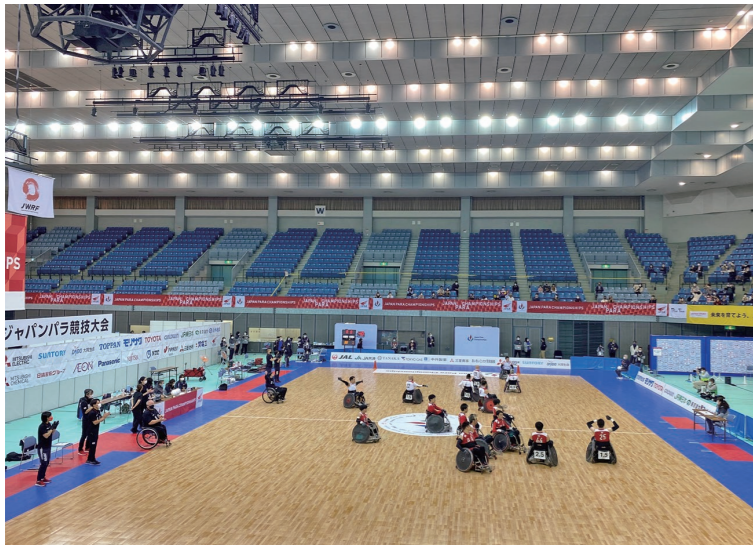


市民に寄り添ったデジタルデバインド対策の取り組み

### 予算編成に対する重点要望項目等から抜粋

- **市民生活に寄り添った新型コロナウイルス感染症対策への的確な対応**  
軽症者等の宿泊療養施設の確保 (11.8億円) および自宅療養の支援 (10.5億円)  
医療機関・保健所・環境保健研究所でのPCR検査体制の確保 (3億円)  
高齢者施設等のPCR検査費用の助成 (3.4億円)  
簡易陰圧室設置など介護施設等における感染拡大防止対策支援 (5600万円)  
美浜区に生活自立・相談センターの設置により生活困窮者相談の全区体制整備の推進 (1.9億円)
- **行政のデジタル化とデジタルミニマムの推進**  
高齢者等のデジタル活用の不安解消に向けたスマホ講座の推進 (420万円)
- **集中豪雨や台風、大震災、停電など危機事案への対応および情報伝達体制の強化**  
電力の強靱化として、電気自動車・太陽光・V2Hセット購入助成 (750万円)  
森林等の安全対策 (倒木等による送配電施設被害の未然防止) (3100万円)  
防災ラジオの更新として、FM局から緊急情報を受信できる自動起動ラジオの導入 (2500万円)  
デジタルサイネージによる災害情報の配信 (430万円)  
マンホールトイレ整備 R3末:計140箇所▶R4末:計160箇所 (2900万円)
- **感染症対策を踏まえた分散避難体制の構築**  
地域避難施設の備蓄携帯用トイレ 1施設あたり100個程度の拡充 (100万円)
- **安心・安全な市民生活に向けた諸施策の拡充**  
各区役所窓口へのお悔やみコーナーの設置 (3100万円)
- **健康づくり施策の推進のがん対策充実強化**  
子宮頸がん予防のHPVワクチン接種および勧奨再開 (9億6700万円)
- **病院事業の新たな体制の構築推進**  
新病院の整備推進および海浜病院の老朽化対策として、新病院整備の実設計と用地の取得 (47億7000万円)

## ◆ パラスポーツの振興で新たな文化の育成を！



昨年のパラリンピックを契機に、パラスポーツを共生社会の実現というレガシーにつなげることが重要であり、競技人口の拡大という、真にパラスポーツが市民社会に浸透した成果を生み出す取り組みが必要と考えます。

そこで、さらに裾野を広げることや、小さくとも持続的に推進する体制の必要性を求め、パラスポーツの振興を新たな文化として育成していくことについて伺いました。

市長からは「障がい者が身近な場所で自主的・積極的・継続的に一生涯スポーツに親しめるよう、

地域で活動するスポーツ振興会におけるパラスポーツ導入の支援等を行うほか、パラスポーツ振興に向けた実施環境の整備を進める」旨の答弁がありました。

また、競技人口の拡大に向けた今後の取り組みについて伺いました。

市長からは「今後は、千葉市スポーツ協会が実施する障がい者スポーツ教室を、3競技12回から、6競技87回へ拡充するとともに、市スポーツ施設の指定管理者等に対し、スポーツ教室、体験会の開催を働きかけ、スポーツ活動への参加機会の拡大に取り組む」旨の答弁がありました。

## ◆ 持続可能な保健体制の強化を！

今回のパンデミックを通し、大規模自治体の健康管理および保健所については、持続可能性の視点から再確認することを求め、本市の健康危機管理の対応も含めた専門職の計画的な増員について伺いました。

市長からは「新型コロナウイルス感染症では、より専門的知見を持って対応する必要性と重要性を改めて認識し、昨年度から即戦力となる経験者保健師の増員を図った。引き続き、平常時から関係機関等との連携体制や人員体制等の強化を図る」旨の答弁がありました。

また、希薄化する地域や人のつながりを強化する取り組みについて伺いました。

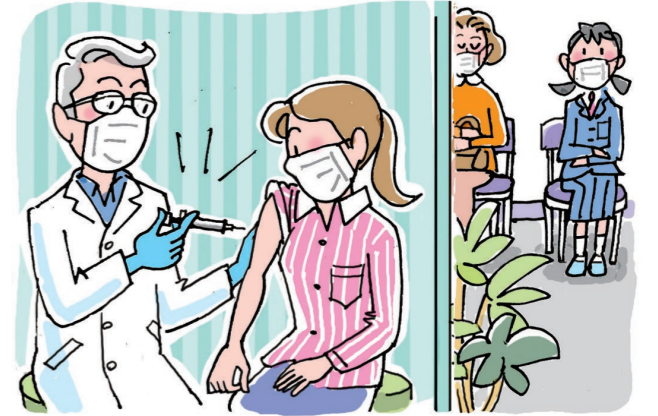
市長からは「住民同士が出会い、地域づくりなどに参加することができる公民館を活用し、保健部局が企画提案を行う講座の取り組みを進める」旨の答弁がありました。



## ◆ HPV ワクチン接種の再開について 子宮頸がん撲滅に向けて

女性の健康のため子宮頸がん撲滅の一助となるHPV\*ワクチン接種勧奨の再開の取り組みを実効性のある事業とすべきであり、正しい理解のための情報提供と接種体制の整備を要望し、千葉市の取り組みについて伺いました。\*注：HPV：ヒトパピローマウイルス

副市長からは「令和4年度の接種勧奨の再開は、HPVワクチンの有効性・安全性に関する正確な情報を提供することが重要であり、これまで接種控えで機会を逃した方についても、個別案内に加え、効果的な周知・啓発方法について検討していく。また、希望する方が確実に接種できる体制を整え、若い世代の女性のがんの中で多くを占める子宮頸がんから命を守る取り組みを進める」旨の答弁がありました。



## ◆ ごみの減量化と再資源化を推進！



チップ燃料化事業の視察 ㈱グリーンアースにて

平成27年度に焼却ごみ1/3削減目標が達成されたものの、令和元年度の1人1日あたりの一般廃棄物総排出量は全国平均を上回っており、一層のごみ減量化の取り組みが必要と考えます。

そこで、市内全域に展開した剪定枝等の再資源化事業のごみ削減効果と剪定枝の乾燥木質チップ化の再資源化について伺いました。

副市長からは「剪定枝の収集実績は、平成30年度4485トン、令和元年度5837トン、令和2年度6505トンと着実に増加し、市民の資源循環に対する意識醸成ならびに行動変容の促進

および焼却ごみの削減に一定の効果が現れている。引き続き、目標の年間7000トンの収集達成に向け取り組みを推進するとともに、新たに乾燥木質チップ製造工場が市内に整備されたことで、脱炭素化の推進に寄与するものと考えている」旨の答弁がありました。

## ◆ 国道357号改良工事 蘇我地区の計画について

国道357号の改良工事は、朝夕の渋滞が発生している千葉市区間の約10.6キロメートルを6車線化と地下立体化および交差点改良を行い、慢性的な渋滞を解消する工事です。工事区間のうち蘇我地区は事業化から5年が経過していることから、その整備の進捗状況と今後の取り組みについて伺いました。

副市長からは「ポートアリーナ前交差点から塩田町の蘇我陸橋南交差点を含む約5キロメートルを6車線化し、両側に歩道と自転車道を設置する国道の整備を行う。今後は速やかに地元で都市計画法に基づく制限内容と道路構造、整備に必要な用地の取得に関する説明を行い、事業の促進を図っていく」旨の答弁がありました。



国道357 蘇我地区交通渋滞の調査